

平成 26 年 10 月 23 日および 24 日に日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みによる以下の契約署名式および供与式がグサール地区およびハチマズ地区において地元行政局知事の立会いの下で実施されました。

1. 署名式「グサール地区ヤサブ村飲料水整備計画」（供与金額103,090米ドル）

安全な水へのアクセスに問題を抱えるグサール地区ヤサブ村において、山の湧水地からの新給水システムを整備し、旧システムを改善することにより、ヤサブ村の約2,200名の住民の安全で豊富な飲料水へのアクセスを可能にし、生活環境を向上させるものです。

アルハソフ知事、東京設計の任田氏および高橋大使との間でグサール地区における日本によるODA活動について協議が行われた。



契約署名式の様子



高橋大使と被供与団体代表アラゾフ氏が契約書に署名



記者会見の様子



2. 供与式「ハチマズ地区フロブル村診療所建設計画」（供与金額120,105米ドル）

ハチマズ地区フロブル村に新規に診療所建物を建設し、適切な医療機材を整備することで、同村及び隣接するガラダグリ村の住民の遠隔地基礎医療における機能向上を図るものです。

完成したフロブル村診療所



高橋大使のアゼルバイジャン語による挨拶



供与式の様子



ハンババリエフ知事の挨拶



歯科治療室



本件実施前のフロブル村診療所

